

令和4年度 事業報告について

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

概況

上尾市の人口は令和4年12月31日現在230,229人となっており、65歳以上の人口は63,573人で高齢化率は27.6%となっております。また、60歳以上の上尾市シルバー人材センターの加入率は1.8%です。

少子高齢化が進み人口が減少している中で成長力を確保していくためには、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる生涯現役社会を実現することが重要であると言われていています。このような中で、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した多様な就業機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加、地域の活性化にかかわることが期待されています。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、事業を進めて参りました。会員の拡大は、令和4年度末の会員数は1,309人と前年度末の1,358人と比べ49人減少しました。減少の要因は、今年度埼玉県シルバー人材センター連合が2年続けて実施した「会費無料キャンペーン」が行われず、そのため1月～3月の新入会員が減ったことが挙げられます。一方、女性会員は人数を伸ばし女性会員の会員全体に占める割合が31.6%になりました。女性部長を中心とした女性のための入会説明会やサロン(オリーブ)会の実施が女性会員拡大の取組になりました。

就業の拡大については、請負・派遣事業の契約金額は576,845,807円(対前年度比99.3%)となり、前年度に比べ4,299,028円の減少となりました。未だコロナ感染の収束が見えず、また原材料価格等の高騰による物価高騰等厳しい環境での1年でした。減少の要因は、請負事業においては今年度ハザードマップ配布事業がなかったことや契約満了、派遣事業への変更が挙げられ、派遣事業においては大口就業先の事業撤退が挙げられます。一方、個人からの契約(除草・草刈作業や庭木の剪定作業、障子・ふすまの張替作業等)は前年より増加しており回復傾向にあります。また、新規事業として「スタディスクール(児童学習教室)」が始まり、「フレイル予防教室」が復活しました。地域のニーズがあり、会員の今まで培われた豊富な知識や経験を活かせる事業として発展させていきます。

以下、主要な事業について報告いたします。

1 会員の増強

- ① 入会説明会を実施しました。感染拡大防止のため、少人数での開催とし、月に2日、1日2回の開催としました。
- ② 女性のための入会説明会を年に4回開催しました。
- ③ シルバーサロン「オリーブ」を12回開催し、入会の促進に努めました。
- ④ 会員募集チラシの全戸配布を行いました。
- ⑤ 入会キャンペーンを1～3月に実施しました。
- ⑥ 市の広報誌、シルバーあげお、ホームページに会員の募集記事を掲載しました。
- ⑦ 会員ご紹介カードを入会説明会で配布し、会員増強に努めました。

2 就業の拡大

- ① 市発注事業の拡大を市行政に働きかけました。
- ② 企業に対してPR活動を行い、新規就業の開拓に努めました。
- ③ 就業開拓チラシの全戸配布を行いました。
- ④ 新規お仕事紹介カードを入会説明会で配布し、就業の開拓に努めました。

3 安全・適正就業の推進

- ① 安全衛生委員会を開催し、産業医から指導を受け、ショートメッセージサービスで研修内容を会員に伝えました。
- ② 安全委員会を開催し、会員の安全や健康に関する事業の計画や検討を行いました。また、安全委員と事務局による会員の就業先の巡回指導も行いました。
- ③ 今年度は事故（特に学校用務業務）の発生件数が多く、その対応として臨時に学校用務員対象の安全就業研修会を実施し、安全基準等のルールを守ることを徹底しました。また、派遣先の教頭先生に向けても事故防止研修会を実施しました。
- ④ 「シルバーあげお」を通じて、熱中症予防や交通安全指導を推進し、健康意識の向上を図りました。
- ⑤ 会員の健康維持のためフレイル予防のための健康教室を開きました。
- ⑥ 高齢運転者による事故防止のため警察官による交通安全講習会を実施し、事故の撲滅を目指しました。
- ⑦ ドライブレコーダーを活用して、運転や事故を分析し、交通安全指導に役立てました。

- ⑧ 臨時的かつ短期的又は軽易な業務の原点に立ち返り、就業及び契約の適正化を図りました。
- ⑨ ローテーション就業やワークシェアリングを意識して業務を進め、就業機会の公平化・均等化に努めました。

4 財政基盤の確立、運営体制の強化

- ① 重点事業に事業費を重点配分しました。
- ② 補助金の確保に努めました。
- ③ 公益社団法人としての機能や体制を維持・強化するため、必要最小限の職員の採用、業務分担の変更を行いました。
- ④ ホームページに就業情報を掲載するなど内容の充実を図り、タイムリーな情報更新に努めました。
- ⑤ 会員の携帯電話に向けたショートメッセージサービスの有効活用を図り、情報提供に努めました。